

第 22 週の発生動向 (2005/5/30 ~ 2005/6/5)

1. 咽頭結膜熱は、むつ保健所管内において引き続き**警報**が出されている他、上十三保健所管内においても**警報**が出されました。
2. 水痘は、八戸保健所管内において**注意報**が出されました。
3. 伝染性紅斑は、青森保健所管内において引き続き**警報**が出されています。

第 22 週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ	1	0.08	8	0.50	4	0.29	5	0.71	3	0.33	1	0.17	22	0.34	-30
(60) 咽頭結膜熱	3	0.38							6	1.00	5	1.25	14	0.33	-3
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	3.13	20	2.00	4	0.44	4	0.80	17	2.83	1	0.25	71	1.69	33
(62) 感染性胃腸炎	41	5.13	20	2.00	6	0.67	4	0.80	15	2.50	14	3.50	100	2.38	-15
(63) 水痘	7	0.88	34	3.40	40	4.44	13	2.60	11	1.83	3	0.75	108	2.57	5
(64) 手足口病			23	2.30	7	0.78	1	0.20	7	1.17			38	0.90	13
(65) 伝染性紅斑	21	2.63			1	0.11					3	0.75	25	0.60	5
(66) 突発性発しん	2	0.25	2	0.20	5	0.56	2	0.40	2	0.33	2	0.50	15	0.36	-10
(67) 百日咳															0
(68) 風しん					1	0.11							1	0.02	0
(69) ヘルパンギーナ	4	0.50	3	0.30	1	0.11							8	0.19	3
(70) 麻しん(成人を除く)															0
(71) 流行性耳下腺炎	2	0.25			3	0.33	8	1.60	7	1.17			20	0.48	-11
(73) 急性出血性結膜炎															0
(74) 流行性角結膜炎	3	1.50	1	0.33	2	1.00	2	2.00	2	1.00			10	0.91	7

保健所名	定 点 数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科 基幹
青森	13	8	5	2
弘前	16	10	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
合計	65	42	23	11

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

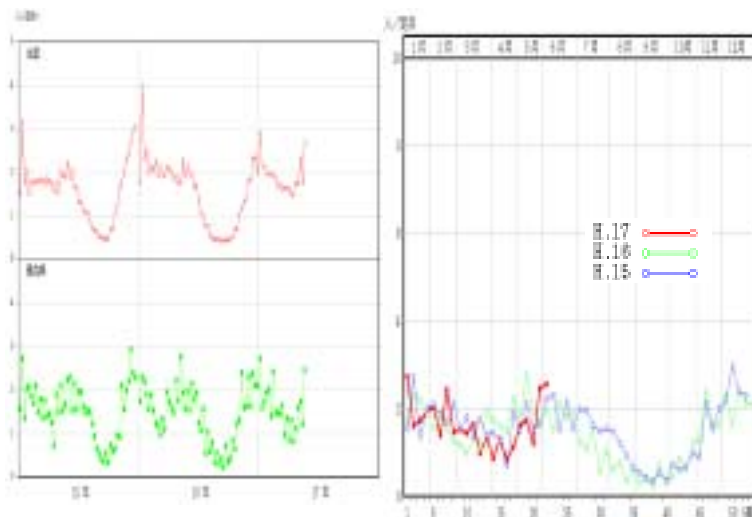
- (82) マイコプラズマ肺炎(五類基幹定点把握疾患) 八戸保健所管内: 2人 (17年計 44人)
 (29) つつが虫病(四類全数把握疾患) 青森保健所管内: 2人 (17年計 2人)

感染症の窓

水痘

水痘患者数(全国との比較)

青森県における水痘患者数



本県における平成 17 年の水痘患者数の増加傾向が現在 (6 月上旬) まで続いています。全国においても患者数の減少が見られず、今後の動向に注意が必要です。

なお、水痘は、例年冬期にピークを迎え 5 月頃まで流行する傾向にあります。本県も過去 2 年間同様の傾向を示してきました。

病原体: 水痘・帯状疱疹ウイルス (VZV) の初感染によって生じます。

感染経路: 主に飛沫感染あるいは空気感染によりますが、発症者との接触感染もあり、ヒトからヒトへ伝染します。

予防法: ワクチン接種が有効です。